

宇宙基地日米計画調整委員会の開催について

平成 8 年 9 月 4 日
宇 宙 利 用 課

1. 日時

平成 8 年 9 月 6 日 (金)

2. 場所

N A S A 本 部 (米 国 ワ シ ン ト ン D C)

3. 出席者

N A S A : ト ラ フ ト ン 宇 宙 飛 行 局 長

科学技術庁 : 中 西 調 査 国 際 室 長 (局 長 代 行)

4. 議題

- 日本実験棟 (J E M) 打上げスケジュールについて
- H - II A / H T V によるシステム共通運用経費の相殺について
- 日本実験棟 (J E M) 打上げ経費の相殺について
- 搭乗員緊急帰還機及び同試験機に係る協力について
- その他

* 日米計画調整委員会 (P C C) : 日米それぞれが提供する宇宙基地の飛行要素及び宇宙基地専用の地上要素に関連する設計及び開発の協力活動の実施を確保するために必要な決定を共同で行う。N A S A 宇宙基地局長及び科学技術庁研究開発局長が共同議長を務める (宇宙基地了解覚書第 7 条 1 b)。

J E M 打上げスケジュール変更に係る対処方針（案）

平成 8 年 9 月 4 日
宇 宙 利 用 課

1. 経緯

- 平成 8 年 1 月 米露交渉の結果、ロシアのミールを 1999 年まで運用することに合意。この影響として、米は、J E M の打上げ時期の変更を提案。

変更理由：

- ①ミール運用のため、シャトル／ミール・ミッションを 1998 年に 2 フライト（1 フライトは振替）追加したことによる遅れ。
- ②供給電力の詳細検討の結果、J E M 与圧部打上げ時期の電力不足が判明。米提供の太陽電池パネル打上げによって十分な電力の提供が可能となるまで J E M 与圧部の打上げを延期する必要性が生じたため。

米提案スケジュール：

	現行	米提案
補給部与圧区	平成 12 年 2 月	平成 12 年 6 月
与圧部及びロボットアーム	平成 12 年 3 月	平成 12 年 11 月
曝露部、補給部曝露区	平成 13 年 3 月	平成 13 年 5 月

- これを受け、スケジュール変更の必要性の技術的検討、及び変更による影響を最小限とするための方策（早期利用機会、日本人宇宙飛行士の搭乗機会の確保）の検討のため、N A S A / N A S D A 間で調整。

2. 対処方針

以下について、N A S A との間で合意する。

- ①科学技術庁は、J E M 打上げに係る N A S A のスケジュール変更案に合意し、必要な国内手続きを開始する。
- ②N A S A 及び科学技術庁は、J E M 打上げスケジュールの変更による J E M 利用計画に対する影響を最小限とするため、早期利用機会及び日本人宇宙飛行士の搭乗機会の確保のための調整を継続する。
- ③N A S A は、更なる J E M 打上げスケジュールの遅れが発生しないよう、最善の努力を払う。

日米計画調整委員会における議題概要について

平成8年9月4日

宇宙利用課

○H-ⅡA/HTVによるシステム共通運用経費の相殺について

宇宙ステーションの運用において、各極が共通に負担すべきシステム運用共通経費（搭乗員用の食料の打上げ費等）を相殺（オフセット）すべく、H-ⅡA/HTVによる輸送の提供、特に輸送品目についてNASAと調整中である。

今次会合においては、輸送品目若しくは輸送量を早期に確定すべく、今後のスケジュールにつき調整する予定。

○日本実験棟（JEM）打上げ経費の相殺について

JEM打上げ経費を相殺（オフセット）するための活動について、NASAよりNASDAに対し、人工重力発生装置（セントリフュージ、CF）、CF搭載モジュール（CAM）及びライフサイエンス・クラブボックス（LSG）を開発する可能性の検討を行う意志について打診されており、9月30日迄に、CF/CAM/LSGの開発に係る交渉開始の意志につきNASAに対し表明する。

今次会合においては、オフセットの実施取極締結に到るまでのスケジュールにつき調整する予定。

○搭乗員緊急帰還機及び同試験機に係る協力について

現在、NASAにおいて、2002年の宇宙ステーションの運用開始を目標に、宇宙ステーションからの搭乗員緊急帰還機の開発を推進しているところであり、我が方から、搭乗員緊急帰還機/同試験機（CRV/X-CRV）の開発・打上げについての協力を提案した結果、両者間で協力の可能性を検討すべく90日スタディ（技術検討会合）を開催することが合意されている。

しかしながら、上記90日スタディが未だ開催されていない状況にあるため、今次会合においては、上記90日スタディの早期開催を要請する予定。